

知仁会だより



理念

- ・私たちは、患者様を身体面・精神面・社会面の三つの軸でトータルに理解し、治療と支援を行います。
- ・私たちは、患者様の権利を尊重し、患者様への接遇やサービスの向上と医療の安全に尽くします。
- ・私たちは、患者様の個人情報保護と企業情報保護に全力で取り組みます。
- ・私たちは、良質で効率的な医療・看護・介護・リハビリ・福祉サービスを目指します。
- ・私たちは、健全な病院経営を行います。
- ・私たちは、知仁会の施設サービス・在宅サービスを通じて一生をあたたくお世話します。
(ターミナルケア実施)
- ・私たちは、地域社会と連携し、地域社会への貢献に努力します。
- ・私たちは、障がい者の人権を擁護し、差別と偏見の解消に努めます。
- ・私たちは、仕事の意義と組織の一員であることを理解し、知仁会に誇りを持ち、より向上するために支え合って働きます。

患者様の権利憲章

- ・個人として、その人格を尊重し、最善の医療を公平かつ安全に受ける権利があります。
- ・病気、検査、治療、リハビリなどについて十分な説明を受ける権利があります。
- ・患者様の個人情報、及びプライバシーは保護されます。
- ・転医、転院等を希望する場合は必要な情報を提供します。また、他の医師の意見を求めたい場合は他の医療機関への紹介を受ける権利があります。(セカンドオピニオン)
- ・診療情報の開示を推進し医療の透明性の確保に努めます。
- ・良好で快適な療養環境のもとに医療を受ける権利があります。
- ・精神科医療においては、精神保健福祉法に準拠した施行がなされます。
- ・良質な医療を実現するために、患者様ご自身の健康に関する情報を出来る限り正確・迅速に知らせる責務があります。
- ・患者様自身が納得できる診療を受けるために、医療に関する説明についてよく理解できなかったことについて、よく理解できるまで質問をする権利があります。
- ・すべての患者様が快適な環境で医療が受けられるよう、病院内のルールやマナー、職員の指示をお守りいただく義務があります。

理事長挨拶

医療法人社団 知仁会 理事長 石井 知行

オミクロン変異株による第6波が始まり、これに対応した広島県のまん延防止等重点措置が1月9日に発令されましたが、2月20日まで延期となっています。デルタ株と違うオミクロン株の特徴、病床のひっ迫状況等に合わせて政府の対策が順次変更されています。これに応じて当法人の「新型コロナウイルス感染防止の為に職員の報告・検査体制」も10回以上の改定を繰り返しました。なかなか、全職員への周知が徹底されないため、これを最重要伝達事項として全部門において複数回の読み合わせ会議を行うこととしています。「新型コロナホットダイヤル」を作り、この番号をこの報告検査体制表に記載しましたが、多くの職員により利用してもらっていることが感染対策に役立っています。職員の家族の職場、学校、保育所などの発症により、多くの職員が感染しましたが、これに対する対応が迅速かつ適切であったため、入院患者様および入所者様の発生はゼロに抑えられています。今後とも「新型コロナウイルス感染防止の為に職員の報告・検査体制」を利用して報告・検査を厳重に施行することによりコロナの侵入を防いでいきましょう。

シンポジウム 要介護高齢者の家族による 在宅リハビリ支援について

参加者募集

2022

3/1 火

来場 (定員130人) / LIVE視聴 (どちらも参加無料)

14:00~16:30 (開場13:30)
ホテルグランヴィア広島
(悠久AB)
広島市南区松原町1-5



開会挨拶 広島県健康福祉局 局長 木下 栄作 氏

基調講演 座長 広島大学 教授 岡村 仁 氏

①スポーツ障害とリハビリ 講師 プロ野球解説者 達川 光男 氏

②要介護高齢者の家族による在宅リハビリの意義 講師 県立広島大学 教授 金井 秀作 氏

③要介護高齢者の家族による在宅リハビリアプリの紹介 講師 株式会社ビーライズ 石原 裕輝 氏

シンポジウム 座長 広島大学 特任教授 石井 伸弥 氏

①歯科専門医の立場から 日本歯科大学 教授 菊谷 武 氏

②リハビリ専門医の立場から 済生会和歌山病院リハビリテーション科 部長 石田 和也 氏

③在宅医療学の立場から 東京大学 在宅医療学 特任准教授 山中 崇 氏

④理学療法士の立場から 広島都市学園大学 教授 甲田 宗嗣 氏

⑤作業療法士の立場から 広島大学 教授 花岡 秀明 氏

⑥栄養学の立場から 県立広島大学 教授 栢下 淳 氏

閉会挨拶 広島県慢性期医療協会 会長 石井 知行 氏

ご来場またはLIVE視聴どちらかの参加方法をお選びください。

締め切り: 2月24日(木) 必着

事前のお申し込みが必要です。参加ご希望の方は、はがき・FAX・Eメールに、郵便番号、住所、名前、電話番号、メールアドレス、参加方法(ご来場またはLIVE視聴のどちらか)を明記の上、下記までお送りください。

※応募多数の場合は抽選とさせていただきます。

※新型コロナウイルス感染状況により定員の変更や来場不可などの対応になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

LIVE視聴方法 後日、申し込みの際にいただいたメールアドレスにYouTubeのURLを送付いたします。当日、送付したURLにアクセスいただきご視聴ください。

(株)中国新聞アド「在宅リハビリ支援シンポジウム」係

●はがき/〒730-0044 広島市中区宝町5-28 ●FAX/082-247-2746 ●Eメール/medical01@chu-ad.co.jp

※個人情報(聴講券の発送と応募多数の場合抽選にもれた方への通知のために利用します。なお個人情報については、(株)中国新聞アドが責任をもって管理し、第三者には開示しません。

お問い合わせ: 中国新聞アド「在宅リハビリ支援シンポジウム」係 TEL082-247-6282 (土日祝を除く9:30~17:30)

【主催】広島大学大学院医系科学研究科共生社会医学講座、広島大学大学院医系科学研究科精神機能制御科学研究室、広島県慢性期医療協会、中国新聞社

【後援】広島県、広島市、一般社団法人日本慢性期医療協会、一般社団法人広島県医師会、一般社団法人広島市医師会、一般社団法人広島県病院協会、一般社団法人広島県歯科医師会、一般社団法人広島市歯科医師会、公益社団法人広島県看護協会、社会福祉法人広島県社会福祉協議会、広島県老人福祉施設連盟、広島県老人保健施設協議会、公益社団法人広島県理学療法士会、一般社団法人広島県作業療法士会、一般社団法人広島県言語聴覚士会、公益社団法人広島県栄養士会、一般社団法人広島県介護支援専門員協会、広島県地域包括・在宅介護支援センター協議会、広島県地域包括ケア推進センター

お申し込み方法

申し込み専用サイトからもお申し込みいただけます。右記の二次元コードを読み取ってください。





2月の院外講演予定

日時	研修会・会議・その他	主催	内容	場所
-	第 47 回広島県病院学会	広島県病院協会	今年度は新型コロナウイルス感染防止の為、広島県医師会館での講演発表は中止となりました。発表を予定していた、当院の管理栄養士 勝井さん・寺田さんによる 演題「栄養調整食を用いた卵豆腐による栄養状態改善促進」は、後日、広島県病院協会 H P (https://hirobyokyo.jp/) に掲載されますので、ご興味のある方はご覧下さい。	-



2月の行事予定

日時	行事名	主催	内容	場所
9 日 (水) 17 日 (木)	ワーカー研修会	教育委員会	ゆうゆが担当となり「身体拘束・抑制について (抑制帯の使用方法含む)」というテーマで研修会を開催しました。	メープルホール
24 日 (木)	知仁会研修会	教育委員会	当院精神科 田村知子医師が講師となり、「認知症について」というテーマで研修を行いました。	メープルホール
2 日 (水) 16 日 (水)	摂食機能専門職	S T 部門 医療安全管理委員会	新入職員・未受講者対象	メープルホール
-	摂食機能専門職	S T 部門 医療安全管理委員会	「修了証」更新者対象	-

＜研修会報告＞ 「禁煙教育」

教育委員会・労働安全衛生委員会

令和 4 年 1 月 27 日 (木)、メープルホールにて知仁会研修会が行われました。

今回は、老人保健福祉施設ゆうゆ 施設長 大島俊之医師が講師となり、「禁煙教育」というテーマで研修を行いました。

日本では受動喫煙が原因で年間 1 万 5 千人が死亡しており、受動喫煙による超過医療費は年間約 3,200 億円とされています。平成 30 年には健康増進法の一部を改正する法律が発表され、学校・病院・児童福祉施設は敷地内禁煙となりました。また、タバコに含まれるニコチンは、細胞上の「CE2」という物質を増加させる働きがあり、その結果ウイルスに感染しやすくなると報告されています。

新型コロナウイルスが流行している今が、禁煙する大きなチャンスかもしれません。



広島県西部認知症疾患医療・大竹市認知症対応・玖波地区地域包括支援・合併型センター

認知症に関するお困り事の相談（専門医療相談）
受診のご予約
認知症の診断・治療
認知症初期集中支援チーム

介護保険代行申請
介護予防ケアプランの作成
地域の健康作り・情報発信
認知症カフェ オレンジカフェいこか！ 等

専門医による鑑別診断及び専門外来
月曜日～木・土曜日（金・日祝祭日休み）
9：30～12：00（※予約制）

電話相談・受診のご予約
月曜日～土曜日（日祝祭日休み）
8：30～17：30

☎0827-57-7461（直通）

認知症サポーター養成講座を開催しました！



令和4年1月24日（月）、26日（水）大竹高等学校にて認知症サポーター養成講座を開催しました。今回は新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、WEBにて実施しました。はじめてのWEBでの開催のため、上手く伝わるか、有意義な時間にできるか等不安点はありましたが、こちらの問いかけに元氣よく答えてくれ、終始和やかな雰囲気ですべての講座を進めることができました。

核家族化により、家庭によっては自分の祖父母と関わる機会が減っていたり、近年で言えば新型コロナウイルス感染症の影響により、人と関わる機会さえも減っています。目に見えるすぐの行動は難しくても、「認知症ってなんだろう？」「自分には何ができるだろう？」と考えるだけでも、認知症の方が過ごしやすい町づくりへの一歩になるのではないのでしょうか。

今後も新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑みつつ、適切な時期に最適な方法で実施する方針ですが、状況によっては開催が困難な場合もあります。実施については、当センターまでお問合せください。

令和3年度 認知症専門職研修会のご案内

演 題：「コロナ禍における認知症の人と家族への支援について」

講 師：広島大学大学院医系科学研究科 共生社会医学講座

特任教授 石井 伸弥 先生

2001年東京大学医学部卒業、2018年厚生労働省老健局総務課認知症施策推進室にて認知症専門官として勤務、2020年に新設された広島大学大学院医系科学研究科共生社会医学講座にて特任教授を務められ、広島県西部認知症疾患医療・大竹市認知症対応・玖波地区地域包括支援・合併型センターでは外来診療も担当されています。「いきいきとした私の暮らし応援ガイド 2020年度版」や、一般病床および介護施設における認知症高齢者の方への対応の手引き等の作成に携わられており、本研修会でも、認知症ご本人やご家族の状態に合わせた対応方法、知識について教えてください。

日 時：令和4年3月4日（金）18：30～20：00

開催方法：オンライン形式（Zoom）

共 催：広島県西部認知症疾患医療・大竹市認知症対応・玖波地区地域包括支援・合併型センター

（医療法人社団 知仁会 メープルヒル病院）／東和薬品株式会社

申込方法：当センターへお電話にてお問合せください。



認知症と鑑別が必要な疾患について

精神科 田村 知子

認知症が疑われる方の診療においては、うつ病やせん妄など認知症との鑑別が必要となってくる疾患があります。今回は、それらの疾患についてご紹介いたします。

うつ病の症状には、抑うつ気分、興味または喜びの喪失といった中核症状、さらには体重の減少や不眠、疲労感、焦燥感、気力の減退、集中力の減退といった症状があります。しかし、老年期のうつ病では抑うつ気分の訴えが中核症状となりにくく、疲労感や頭重感、肩こりといった心身的・身体的な症状が目立つ傾向があるなど、非特異的であることが多く、その診断に苦慮することも多いと言われています。認知機能の検査では、うつ病による注意力・集中力の低下によって認知症と同程度に失点することもあるため、鑑別が難しくなります。

せん妄は、注意障害および意識障害により、認知機能が障害される状態であり、興奮などを伴うことがあります。せん妄と認知症も鑑別が困難となる場合があります。せん妄で認められる注意障害や意識障害の特徴としては、1日の中でしばしば変動し、記憶障害は不注意に基づく障害として認められますが、認知症では、記銘力自体が障害されており、意識障害は認めず、注意障害も比較的保たれています。

それぞれの疾患に対する治療ですが、認知症では抗認知症薬の投与による進行防止、うつ病では休養と抗うつ薬等による十分な薬物療法、せん妄では原因となる疾患の治療が基本であり、診断毎に治療方針が異なってきます。そのため鑑別が大事なのですが、それぞれ症状が似ている部分があり、さらに元々認知症だった方がせん妄になってしまうなど、このうち2つ、3つが合併する場合もあることから、診断が難しくなってしまふことがあります。そのため、正確な診断のためには、詳しい病歴聴取に加えて、認知機能検査、頭部CT、脳波、血液検査等様々な検査が必要となることもあります。

ご高齢の方の診療においては、合併疾患や内服薬の影響なども複合的に考えながら鑑別し、適切な治療を行うことが必要となります。認知症が疑われる場合でも、違う疾患である可能性もあるため、鑑別を行いながら治療にあたっていくことが重要です。いずれの場合でも、早期発見・早期治療が大事であるため、気になる症状がある場合、早期の受診をご検討いただければと思います。

＜研修会報告＞「ハラスメント」

教育委員会・労働安全衛生委員会

令和4年1月27日（木）、メープルホールにて知仁会研修会が行われました。今回は、メープルヒル病院 企画課 宮田課長が講師となり、「ハラスメントについて」というテーマで研修を行いました。

1994年の男女雇用機会均等法をはじめ、セクシャルハラスメントやパワーハラスメント等に関する法律が規制されてきました。

今回の研修ではどのようなケースがハラスメントに該当するかクイズ形式で出題され、身近な出来事がハラスメントに繋がる可能性があるという事に改めて気付かされました。

相手の立場に立って考えることが、ハラスメント回避に繋がる第一歩かもしれません。





新型コロナウイルス治療 経口薬について

薬剤師 山本 真由美

現在、新型コロナウイルス治療薬の新たな経口薬が承認申請に動いています。商品名パクスロビド（有効成分名ニルマトレルビル・リトナビル）は去年12月に特例承認された商品名ラゲブリオ（有効成分名モルヌピラビル）とは異なる作用機序を有しており、承認されれば本邦2つ目の経口治療薬となります。重症化リスク減少率が低いのではないかと懸念されるラゲブリオに加えて、重症化リスク減少率が約9割とされているパクスロビドが承認されれば治療の選択肢が広がるものと期待されています。パクスロビドには抗HIV薬の成分であるリトナビルが含まれる合剤となりますが、これはニルマトレルビルを代謝する酵素をリトナビルが阻害することで、有効成分であるニルマトレルビルが代謝されず血中濃度が高くなり、より効果が期待されることを目的としています。現状、ラゲブリオは国の承認した医療機関のみでの処方調剤が可能とされていますが、今後、重症化リスク減少率が高いとされているパクスロビドの生産や供給が安定すれば、一般の医療施設での処方調剤も可能になるのではないかと期待が高まります。

参考：NHK特設サイト 新型コロナウイルス
BBC NEWS（JAPAN）（R3.11.6記事）



新入職員紹介

患者様・ご家族様により良いサービスを提供していけるよう頑張りたいと思います。宜しくお願いします。

	本館2階 介護福祉士 渡邊 恵子		本館3階 介護福祉士 鳴坂 典子
	元気いっぱい笑顔で仕事を		病院での勤務は初めてなので分からない事も多い
	頑張っていきたいと思います。		ですが、よろしくお願いします。今はまっている
	よろしくお願いします。		のは「己書」にひたすら文字と絵を書いています。
	別館3階 看護師 永友 弘美		ゆうゆ3階 看護補助 井上 加代
	3年間ブランクがあり、当院認知症病棟に配属		メープルヒル病院とゆうゆの職員の皆様、初めまして。
	となりました。皆様のご指導のもと、精一杯		この度は介護未経験の私にチャンスを与えて下さりありが
	努力致しますのでよろしくお願い致します。		とうございます。そして、どうぞよろしくお願い致します。
	栄養課 調理員 栗原 由花里		本館3階 看護師 重村 絢香
	早く仕事に慣れて皆さんに迷惑を		”明るく、楽しく、丁寧に”をモットーに
	かけないように頑張りたいです。		患者様やスタッフの方々と関わって
	趣味はカラオケで公民館で歌っています。		いきたいと思っています。よろしくお願いします。
	歯科 歯科助手 泉名 敬子		
	ブランクもあり、大きな病院で働くのは		
	初めてなので、不安でいっぱいですが、		
	頑張ります。		



★医師のスタッフ数

	常勤医師	非常勤	医師合計数
精神科	6 名	2 名	8 名
内科	4 名	12 名	16 名
放射線科	1 名	0 名	1 名
合計	11 名	14 名	25 名 ※基準数 9 名
歯科	0 名	6 名	6 名

★リハビリのスタッフ数

	リハビリスタッフ数（非常勤）
理学療法士	6 名（4 名）
言語聴覚士	2 名（0 名）
作業療法士	9 名（1 名）
合計	17 名（5 名）※基準数 13 名

★敷地内禁煙について

当院では敷地内での喫煙を健康増進法に従って禁止しています。喫煙につきましては、敷地外の所定の喫煙場所をお願い致します。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

★外来診療担当

認知症疾患医療センターで、もの忘れ外来も実施しております。

	月	火	水	木	金	土
精神科	石井 知行	野見山 敏之	石井 知行	野見山 敏之	河内 英基	岡村 仁
内科	佐々木 雅敏	佐々木 富美子	松尾 行雄	加藤 礼子 茶山 一彰 (第2・第4)		芹川 正浩
歯科	広大医師 第二月曜のみ	広大医師	広大医師	広大医師		
認知症疾患 医療センター	石井 伸弥 (初診)	石井 伸弥 (初診)	河面 憲志	田村 知子		河内 英基

★診療時間：精神科 9:15～12:00・内科 9:30～12:00・歯科 9:15～12:00

認知症疾患医療センター 9:30～12:00（予約及び緊急時は午後も診察します。）

★当院外来では、ヘリカルCT、腹部超音波検査を行っています。御希望の方は外来スタッフまでお申し出下さい。

※ヘリカルCT・レントゲン検査は午前中のみになりますのでご注意ください。

★地域連携室のご案内

★入院、退院、在宅サービス、施設見学についてのご相談、また、苦情、お困りごと、その他、ご質問等ございましたら、地域連携室までお気軽にご相談下さい。スタッフ一同、プライバシー保護を遵守しておりますので、患者様、ご家族様から知り得た情報は了解なしに第三者に開示されることは決してありません。ご安心してご相談ください。

★地域連携室の主な業務：入院相談・退院相談・入院生活や退院後の生活についてのご相談、医療福祉サービスや制度などのご案内・諸手続の援助等

地域連携室（メープルヒル病院本館1階）0827-57-7451

責任者：地域連携室 福原 啓司

個人情報保護に関する医療法人社団知仁会の基本方針

知仁会は常日頃より患者様・利用者様の視点に立ち、質の高い医療の実現とよりよいサービスの提供を目標として、診療業務を営んでおります。患者様・利用者様の健康状態に応じて迅速に的確な医療を提供させて頂くためには、患者様・利用者様に関する様々な医療情報が必要です。患者様・利用者様と確かな信頼関係を築き上げ、安心して医療サービスを受けて頂くために、患者様・利用者様の個人情報の安全管理は必須です。知仁会では、下記の基本方針に基づき、医療情報の管理を行い、患者様・利用者様の個人情報保護に厳重な注意を払って参ります。

1. 個人情報保護に関する法律を遵守し、患者様・利用者様の情報を個人情報保護委員会で管理しています。
2. 診療及び病院の運営管理に必要な範囲においてのみ、患者様・利用者様の個人情報を収集しています。
3. 患者様・利用者様の個人情報への不正アクセス、紛失、改竄及び漏洩を防止し、安全対策を実施いたします。
4. 一部、検査等を外部の医療施設等に委託する場合があります。その際に、患者様・利用者様の情報をこれらの施設に知らせる必要のある場合があります。この場合、知仁会では、信頼のおける施設等を選択すると同時に、患者様・利用者様の個人情報が入り込まないように契約を取り交わします。
5. 患者様・利用者様が継続的に良い医療を受けられるように、診療に関する情報を、病院、診療所などに提供する場合があります。また、ご本人様、ご家族様に事前に承諾をいただいたうえで、学会や研究等で医療の発展の目的として情報を利用する場合があります。
6. 患者様・利用者様の必要に応じて、診療情報を開示しています。しかし、最良の治療の継続に支障をきたすことが考えられる場合は、開示しないことがあります。
7. 知仁会では、患者様・利用者様の取り違えなどの事故を防ぐため、入院患者様・入所者様氏名を病室・療養室前に掲示しております。ご理解、ご協力をお願いいたします。名札の掲示についてご希望がありましたらお申し出ください。
8. 知仁会では、原則として面会制限は行っておりませんが、面会に関してご本人様、ご家族様の希望がありましたら病棟職員にお申し出ください。



医療法人社団 知仁会

〒739-0651 広島県大竹市玖波5丁目2番1号

TEL 0827-57-7451

FAX 0827-57-5312

ホームページアドレス <http://tijinkai.or.jp/>



メープルヒル病院

広島県西部認知症疾患医療・大竹市認知症対応・
玖波地区地域包括支援・合併型センター
地域活動支援センターみらい



介護老人保健施設ゆうゆ

ゆうゆ居宅介護支援事業所
ゆうゆ訪問看護
ゆうゆデイケア
訪問リハビリテーション

《アクセス方法》

■ JRご利用

広島駅から玖波駅 35分

玖波駅から

バス・タクシー約5分／徒歩約10分

(玖波駅西口から送迎バスを運行しております。)

送迎バスは玖波駅発 9:30、12:35
となっております。)

■ 山陽自動車道ご利用

大竹インターから約5分



<患者様へお願い>

1. ご自身の健康に関する正確な情報をお伝えください。
2. わからないことがありましたら、ご納得いただけるまでご質問ください。

●メープルヒル病院、老人保健施設ゆうゆ、各社会復帰施設の紹介や知仁会から発行する広報誌、毎月の行事一覧、知仁会のサービス案内などを掲載しています。

また、皆様からの質問・相談窓口としてホームページ上にご意見板を用意していますので、知仁会に関する質問や日常生活の様々な悩み・相談、また見学のお問い合わせ等ありましたら、お気軽にお尋ね下さい。

●求人に関する情報もありますので、ご覧下さい。

ホームページアドレス <http://tijinkai.or.jp/>

●本誌に掲載されております写真等につきましては、ご本人あるいはご家族の了承を得て掲載させて頂いております。

●知仁会だよりについてのお問い合わせ、ご意見は担当：濱浦・横山・土江までお寄せ下さい。